

2015年10月28日：北陸新幹線並行第三セクター鉄道4社宛て  
「連絡運輸制度などの改善についての要望書」

2015年10月28日

〒386-0018 長野県上田市常田1-3-39  
しなの鉄道株式会社  
代表取締役社長 藤井武晴様

〒942-0003 新潟県上越市東町1-1  
えちごトキめき鉄道株式会社  
代表取締役社長 嶋津忠裕様

〒930-0858 富山市牛島町24-7  
あいの風とやま鉄道株式会社  
代表取締役社長 市井正之様

〒920-0005 金沢市高柳町9-1-1  
I Rいしかわ鉄道株式会社  
代表取締役社長 七野利明様

〒■■■■ 東京都足立区■■■■  
半沢一宣（自筆署名）

### 連絡運輸制度などの改善についての要望書

拝啓 時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

私は、今月13日（火）～14日（水）に北陸新幹線並行第三セクター鉄道を金沢から軽井沢まで乗り継ぎ利用した者です。

このとき、連絡運輸の取り扱い（連絡乗車券の発売方）について疑問に感じた点がございましたので、改善を求めたくお便りさしあげることになりました。

#### ．要望の主旨

- 1．軽井沢から金沢までの各駅間相互発着の旅客に対して1枚の連絡乗車券を発売できるよう、関係4社の連絡運輸規則（規程）を改正してください。
- 2．えちごトキめき鉄道とあいの風とやま鉄道におかれましては、全区間を1枚の乗車券として購入するよりも途中駅で2枚の乗車券に分割購入したほうが安く利用できるという、不自然な運賃設定方を是正してください。

#### ．要望の理由

##### 1．事実経過

私は、今月13日にJR西日本・七尾線の宇野気駅から長野駅まで、14日に長野駅から軽井沢駅まで、それぞれ乗車する予定にしていました。

私はJRグループの企画乗車券である「秋の乗り放題パス」を持っていたため、事前に第三セクター鉄道会社線の乗車券を用意しておかないと、長野駅などでいわゆる「キセル乗車」と誤解されるおそれがあるのが不安でした。

そこで12日の夕方に金沢駅構内のI Rいしかわ鉄道の案内所を訪問し、連絡乗車券の

発売範囲を尋ねました。

案内所の係員によれば「ここで発売できるのは（あいの風とやま鉄道の）越中宮崎までです」とのことでした。

私が「市振（あいの風とやま鉄道とえちごトキめき鉄道との境界駅）までは買えないのですか？」と尋ね直したところ「市振から先は発売できません、越中宮崎から先は乗り越し精算してください」と言われました。

後刻、宇野気駅でも尋ねてみたところ「ここでは富山までしか発売できません。お客様は津幡まで有効な乗車券（秋の乗り放題パス）をお持ちですので、津幡から先を乗り越し精算してください」と案内されました。

そこで私はやむを得ず13日に津幡から無札のまま、IRいしかわ鉄道に乗り継ぐことにしました。

幸い、津幡から乗り継いだ列車（441M）には車掌が乗務しており、私から申告することで車内補充券を発行してもらうことができました。

しかし、IRいしかわ鉄道とあいの風とやま鉄道の連絡運輸取扱範囲が越中宮崎（富山県内の最後の駅）までとされている影響で、あいの風とやま鉄道については倶利伽羅から市振までの通し運賃が適用されず、後で乗り継いだえちごトキめき鉄道の列車（1635D）の車掌に支払った分と合わせると、越中宮崎で2区間に分割した運賃を支払うことになってしまいました。

同様に、えちごトキめき鉄道についても、発駅が越中宮崎となった関係で市振から妙高高原までの通し運賃を適用できず、直江津で2分割した運賃を支払うことになりました。

これらについては、車内補充券のコピーを証拠として同封しますので、ご確認願います。

## 2. 帰宅後に運賃表を精査して判明した、連絡運輸制度の疑問点

私は帰宅後、あいの風とやま鉄道とえちごトキめき鉄道で乗車券を2区間に分割されたことで、支払額にどのような影響があったかを、第三セクター各社のホームページで公開されている普通運賃表を参照し調べてみました。

その結果、以下のような事実が判明しました。

### (1) あいの風とやま鉄道分

ア. 倶利伽羅～市振の通し運賃	2,060円＝
イ. 越中宮崎で分割発券した場合（今回の私のケース）	
倶利伽羅～越中宮崎	1,860円
越中宮崎～市振	210円
合計	2,070円＝
差額（ - ）	2,070 - 2,060 = 10円高
ウ. 富山で分割発券した場合	
倶利伽羅～富山	860円
富山～市振	1,110円
合計	1,970円＝
差額（ - ）	1,970 - 2,060 = 110円安
エ. 魚津で分割発券した場合	
倶利伽羅～魚津	1,260円
魚津～市振	660円
合計	1,920円＝
差額（ - ）	1,920 - 2,060 = 140円安

倶利伽羅から市振までの全区間の通し運賃は2,060円ですが、高岡・小杉・魚津・生地の

いずれかの駅で2枚に分けると1,920円と、140円も安く利用できることとなります。

しかし私は、441Mの車掌からは魚津などで分割発券したほうが安く利用できる旨を案内されず、越中宮崎で分割した割高な運賃を支払わされたわけです。

また、仮に私が出かける前にこのことに気づいていて、441Mの車掌に魚津などで2分割した車内補充券を発券するよう依頼したとしても「切符は目的地まで正しくお買い求めください」と分割発券を拒絶され、発売できる最遠駅（越中宮崎）までの運賃を請求されるのがオチだったと思われます。

これでは「あいの風とやま鉄道は利用者に不当に高い運賃を支払わせる悪徳商売をしている」と非難されてもしかたがないのではないのでしょうか。少なくとも、連絡運輸範囲を行政区画（県境）で線引きすることにこだわらず、IRいしかわ鉄道側からは市振まで、えちごトキめき鉄道側からは倶利伽羅までの連絡乗車券を発売できるように制度を改正しないと、今回の私と同様の不快な思いをさせられる利用者が後を絶たないことは、明らかです。

## (2) えちごトキめき鉄道分

ア．市振～妙高高原の通し運賃	1,660円＝
イ．直江津で分割発券した場合（今回の私のケース）	
市振～直江津	970円
直江津～妙高高原	670円
合計	1,640円＝
差額（ - ）	1,640 - 1,660 = 20円安

市振から妙高高原までの全区間の通し運賃は1,660円ですが、上越妙高・南高田・直江津・浦本のいずれかの駅で2枚に分けると1,640円と、20円安く利用できることとなります。

たまたま今回の私の場合は通し運賃より安く利用できたため、えちごトキめき鉄道には文句を言う筋合いではないのかもしれませんが、国鉄時代から「切符は目的地まで正しく購入を」という呼びかけに馴染んできた者としては、分割購入したほうが安くなるという運賃設定方には、違和感を覚えずにはられません。

## 3．乗り越し精算を案内することへの疑問

今回、私が乗り継いだ列車のうち、あいの風とやま鉄道441Mの富山～泊間、えちごトキめき鉄道の2358M（直江津～妙高高原間）、しなの鉄道の332M（妙高高原～長野間）はワンマン運転でした。これらの列車では車掌が乗務していないため、車内で乗り越し精算を依頼することができません。運転士に依頼するのは列車遅延を誘発する原因になるため、事実上不可能だからです。

したがって、出発地である金沢駅や宇野気駅などで、前途は乗り越し精算するようにと案内されると、到着地である長野駅や軽井沢駅などまでかなりの長距離を、精算する機会に恵まれず無札のまま乗車せざるを得ないケースが多発することになると予想されます。長野から金沢方向へ乗車する場合も同様です。

これでは、今回の私のようにJR全線乗り放題タイプの乗車券を持っていたり、夜間に駅員無配置となる駅で降車したりする旅客が、中間無札の不正乗車（俗に言うキセル）をするのを見逃すことになってしまいます。これでは関係する第三セクター鉄道各社のためにならないだけでなく、まじめに運賃を払って利用する旅客に馬鹿を見させることにもなってしまいます。こういう問題点を解決するためにも、連絡運輸取扱範囲の拡大が必要なのは、明らかです。

以上の理由により、本状の冒頭に記した事項について要望いたしたく存じます。

2015年10月28日：北陸新幹線並行第三セクター鉄道4社宛て  
「連絡運輸制度などの改善についての要望書」

関係各社におかれましてはご多忙のおり誠に恐縮ですが、本年11月20日（金曜日）までに書面にて、上記半沢自宅までご回答くださいますようお願い申し上げます。

なお各社からの回答内容につきましては本状と共に、私が所属する交通関係の学術団体などで報告・発表させていただく場合がございますことを、あらかじめご承知おきくださいますよう、合わせてお願い申し上げます。

末筆となりましたが、各社の今後益々のご発展と無事故をお祈りしております。

敬具

本状は、しなの鉄道、えちごトキめき鉄道、あいの風とやま鉄道、IRいしかわ鉄道の4社宛てに、同一内容の書面を送付しております。

甲冊

領収額 Amount Received  
¥ 千 2090 円 ゆき

事由 道復往復  
1. 往新  
2. 在在  
3. 在在  
4. 新新

原券 經由 月 日 券種 号  
經由 津幡 2 越中宮崎 2 有効 Days 発売日共 Good for

収受又は変更区間  
1 經由 1 2 3  
4 5 6  
人員 Adult 1 小児 Child 1 学割 人

再掲 運社 1 運社 2

記事 発売額計 大人無割 円

1往片内 經由 大人無割 円  
2復片 2 復片 2

平成 27 年 10 月 13 日 49M 発行  
(入録・途中下車印) 復

甲冊

事由 金額(円) 4000 1000 800  
片道 日付 2000 900 700  
往復 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10  
別変 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20  
区 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30  
不使 31 有効 発売当日限り有効  
誤 31 有効 発売当日限り有効  
粉 原 券 除 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100  
控 券 除 80 90 100 200 300 400 500 70 80 90  
原 券 除 80 90 100 200 300 400 500 70 80 90  
控 券 除 80 90 100 200 300 400 500 70 80 90

越中宮崎から

記事 駅 市振 親不知 青海 糸魚川 梶屋敷 浦本 能生 筒石 名立 有間川 直江津  
Q 駅から 市振 親不知 青海 糸魚川 梶屋敷 浦本 能生 筒石 名立 有間川 直江津  
駅から 市振 親不知 青海 糸魚川 梶屋敷 浦本 能生 筒石 名立 有間川 直江津  
駅から 市振 親不知 青海 糸魚川 梶屋敷 浦本 能生 筒石 名立 有間川 直江津  
駅から 市振 親不知 青海 糸魚川 梶屋敷 浦本 能生 筒石 名立 有間川 直江津

10.13

えちごトキめき鉄道発行

甲冊

事由 金額(円) 4000 1000 800  
片道 日付 2000 900 700  
往復 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10  
別変 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20  
区 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30  
不使 31 有効 発売当日限り有効  
誤 31 有効 発売当日限り有効  
粉 原 券 除 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100  
控 券 除 80 90 100 200 300 400 500 70 80 90  
原 券 除 80 90 100 200 300 400 500 70 80 90  
控 券 除 80 90 100 200 300 400 500 70 80 90

長野県

記事 駅 市振 親不知 青海 糸魚川 梶屋敷 浦本 能生 筒石 名立 有間川 直江津  
Q 駅から 市振 親不知 青海 糸魚川 梶屋敷 浦本 能生 筒石 名立 有間川 直江津  
駅から 市振 親不知 青海 糸魚川 梶屋敷 浦本 能生 筒石 名立 有間川 直江津  
駅から 市振 親不知 青海 糸魚川 梶屋敷 浦本 能生 筒石 名立 有間川 直江津  
駅から 市振 親不知 青海 糸魚川 梶屋敷 浦本 能生 筒石 名立 有間川 直江津

えちごトキめき鉄道発行



記事 特定記録郵便追跡番号と配達完了日および配達郵便局

しなの鉄道宛て

第664-25-74047-4号

平成27(2015)年10月29日 上田郵便局にて配達完了

えちごトキめき鉄道宛て

第664-25-74048-5号

平成27(2015)年10月29日 直江津郵便局にて配達完了

あいの風とやま鉄道宛て

第664-25-74049-6号

平成27(2015)年10月30日 富山南郵便局にて配達完了

IRいしかわ鉄道宛て

第664-25-74050-0号

平成27(2015)年10月30日 金沢中央郵便局にて配達完了